



第九回全国高校生金融経済クイズ選手権
エコノミクス甲子園 報告書



金融知力 特定非営利活動法人
金融知力普及協会
 Association for the Promotion of Financial Literacy

<http://www.apfl.or.jp>

プラチナスポンサー



ゴールドスポンサー

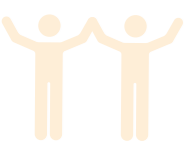


シルバースポンサー



金融知力 特定非営利活動法人
金融知力普及協会
 Association for the Promotion of Financial Literacy

主催：認定NPO法人金融知力普及協会
 エコノミクス甲子園実行委員会



ご挨拶 2

エコノミクス甲子園はこんな大会です! 3

概要 5

各地方大会+参加高校一覧 6

全国大会 27

NY研修旅行の様子と感想 31

全国大会出場者感想 35

参加者アンケート 45

事前学習教材 47

メディア掲載実績 48

Special Thanks 49

協賛社紹介 50

第九回エコノミクス甲子園大会を終えて



エコノミクス甲子園 実行委員長 金融
金融知力普及協会 理事長
金子 昌資

全国高校生金融経済クイズ選手権 エコノミクス甲子園 第九回大会も無事に終了いたしました。参加した全国の高校生の皆様、各地方大会を主催していただいた金融機関の皆様、様々なご支援を頂いた協賛・協力企業の皆様、後援名義を許可頂いた内閣府、金融庁、文科省の皆様、この大会に関わったすべての皆様に御礼を申し上げます。

本当にありがとうございました。

2006年に25校99名の高校生の参加を得て始まったこの大会も、第九回を無事終わり全国で401校2268名が参加する大規模なものになりました。ついに通算の参加者が1万名を超えました。現在の高校のカリキュラムではなかなか学ぶことの無い金融経済についてこれほどの人数の学生が学ぶ機会を提供できたことは、我々の誇りとするところでございます。

我々が伝えたい知識は、ただお金儲けのための物ではありません。夢を実現し、人生を豊かにするために、お金という道具を使いこなすための力を身につけて頂きたいのです。多くの高校生がこの大会に参加することで、何かしらの知見を得、その後の人生に大いに活かしてくれると信じております。

第十回大会では、より多くの金融機関の皆様のお力を得、さらにたくさんの方の生徒に参加していただけるよう、スタッフ一同努力してまいります。ぜひ、引き続き皆様のご指導とご協力をよろしくお願いいたします。





1

ポスターや学校の先生に教えられて 出場を決意!

- ・ネットや携帯電話から応募
- ・参加は無料!



2

金融知力普及協会から送られてくる 事前学習教材で経済を勉強

- ・今日から役に立つ経済の読み方と投資の基礎 …… 寄贈:シティバンク銀行
- ・ビギナーズのためのファイナンス入門 …… 寄贈:金融広報中央委員会
- ・これであなたもひとり立ち …… 寄贈:金融広報中央委員会
- ・ライフステージで学ぶ銀行 …… 寄贈:全国銀行協会
- ・ローン&クレジットのABC …… 寄贈:全国銀行協会
- ・そんぼのホントフレッシュアズガイド …… 寄贈:日本損害保険協会
- ・株式会社制度と証券市場のしくみ …… 寄贈:日本証券業協会
- ・ほけんのキホン …… 寄贈:生命保険文化センター
- ・初めてのJリート …… 寄贈:不動産証券化協会
- ・もっと知りたい税のこと …… 寄贈:財務省
- ・基礎から学べる金融ガイド …… 寄贈:金融庁
- ・みらいの保険を描いてみよう! …… 寄贈:日本少額短期保険協会



3

地方大会に参加

- ・地方大会は各地の地方銀行など金融機関が地域貢献として開催
- ・生活していく上で是非知っておいて欲しい経済の基礎知識や地元経済などについての問題
- ・筆記問題(50問)と早押しクイズで競う
- ・地方大会で優勝したチームは全国大会に出場



日本全国の高校生達に
金融経済を学ぶ機会を提供!
将来の日本をリードする人材の育成!



5

優勝チームはニューヨーク研修旅行にご招待

- ・現地で活躍する様々な方々へのインタビューや経済に関する様々な場所を見学



4

全国大会に参加

- ・経済用語をわかりやすく説明するスピーチクイズや他チームと協力したプレゼンクイズなど、より深い知識や理解が求められる形式の様々なクイズに挑む



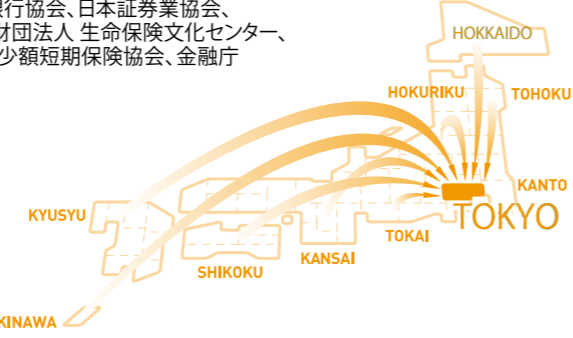


名 趣 期 日

第九回全国高校生金融経済クイズ選手権 『エコノミクス甲子園』	社会に羽ばたく前に高校生に、世の中がどのような金融経済の仕組みで動いているか理解して読み解き、「自分のライフデザイン」や「自分とお金の関わり方」をクイズを通して考えてもらうきっかけとするために開催する。
・全国大会 2015/2/15(日)開催10時00分～16時30分	金融知力普及協会
・地方大会予選 2014/11/2(日)開催	北海道 渡島・檜山地区予選大会
2014/11/8(土)開催	北海道 十勝地区予選大会
2014/11/9(日)開催	北海道 石狩・空知・後志・胆振・日高地区予選大会
・地方大会 2014/11/9(日)開催	北海道 上川・宗谷・留萌・オホーツク地区予選大会
2014/11/16(日)開催	北海道 釧路・根室地区予選大会
2014/11/23(日)開催	東京大会
2014/11/24(月)開催	山口大会
2014/11/29(土)開催	広島大会
2014/11/30(日)開催	愛媛大会
2014/12/7(日)開催	高知大会
2014/12/13(土)開催	埼玉大会
2014/12/14(日)開催	インターネット大会
2014/12/21(日)開催	鳥取大会
	島根大会
	宮崎大会
	北海道大会
	福島大会
	富山大会
	長野大会
	愛知大会
	三重大会
	香川大会
	長崎大会
	秋田大会
	青森大会
	宮城大会
	山形大会
	茨城大会
	栃木大会
	群馬大会
	千葉大会
	神奈川大会
	新潟大会
	石川大会
	福井大会
	岐阜大会
	静岡大会
	大阪大会
	奈良大会
	岡山大会
	徳島大会
	福岡大会
	沖縄大会
	山梨大会
	鹿児島大会

主 催 認定NPO法人 金融知力普及協会
 地方大会主催 各地の金融機関有志
 後 援 内閣府、文部科学省、金融庁
 プラチナスポンサー マニュアル生命保険株式会社
 ゴールドスポンサー シティバンク銀行株式会社、ビットクルー株式会社
 シルバースポンサー パインブリッジ・インベストメント株式会社、I-Oウェルネス・アドバイザーズ株式会社、株式会社一休、ラッセル・インベストメント・グループ、ファイブスター投信投資顧問株式会社
 協 力 日本ファイナンシャルアカデミー株式会社、一般社団法人 全国銀行協会、日本証券業協会、金融広報中央委員会、一般社団法人 日本損害保険協会、公益財団法人 生命保険文化センター、一般社団法人 不動産証券化協会、財務省、一般社団法人 日本少額短期保険協会、金融庁

地方大会内容 第一ラウンド 筆記クイズ
 第二ラウンド 早押しクイズ
 決勝ラウンド 3ヒントクイズ
 全国大会内容 筆記クイズ
 プレゼンクイズラウンド 2040年の大戦略
 第一ラウンド 取引開始!オープニングベル早押しクイズ
 第二ラウンド 摘発せよ!風説の流布クイズ
 敗者復活ラウンド 市場淘汰!サバイバルクイズ
 第三ラウンド クイズ!Time is Money
 第四ラウンド 放て、3本の矢!アペノミクスクイズ
 決勝ラウンド 一騎打ち!クロージングベル論述クイズ



北海道 渡島・檜山地区予選大会 11月2日(日)開催

主 催 渡島信用金庫・江差信用金庫・函館商工信用組合
 優勝チーム 渡島女子高等学校 (遺愛女子高等学校) 「遺愛K3C」
 参加校一覧 遺愛女子高等学校、北海道江差高等学校、北海道函館商業高等学校、北海道七飯高等学校、北海道函館工業高等学校
 参加チーム数 11チーム(5校)
 運営スタッフ感想 全国で初めての地方大会予選の開催となりましたが、無事大会を開催できたことをとてもうれしく思います。また、3つの金融機関が合同で行うイベントというのも初めての試みでしたので、同じ地域の金融機関として「つながり」を持つ大変良い機会となりました。大会に向けての準備や当日の運営等、不安な面もありましたが、当日は特に問題もなく、楽しく大会を終えることができました。また、参加した高校生の皆さんから「楽しかった」との声を頂くことができたことが、何より嬉しく感じています。来年度は、今回参加のなかった高校からも参加して頂けるように準備し、大会をより一層盛り上げていきたいと思っております。



北海道 十勝地区予選大会 11月8日(土)開催

主 催 帯広信用金庫・十勝信用組合
 優勝チーム 帯広市立帯広南商業高等学校 「帯広南商業高校D」
 参加校一覧 北海道音更高等学校、北海道芽室高等学校、北海道帯広柏葉高等学校、帯広市立帯広南商業高等学校
 参加チーム数 12チーム(4校)
 運営スタッフ感想 ・事前準備は大変であったが、参加生徒、運営スタッフともに楽しんでイベントを開催することができた。
 ・最初は緊張感があり、固い雰囲気であったが、早押しクイズの途中から生徒たちも徐々にリラックスしてきたようであり、会場も盛り上がった。



北海道 石狩・空知・後志・胆振・日高地区予選大会 11月9日(日)開催

主 催 札幌信用金庫・北央信用組合・札幌中央信用組合
 優勝チーム 北海道札幌南高等学校 「公正取引委員会」
 参加校一覧 立命館慶祥高等学校、北海道江別高等学校、北海道札幌南高等学校、札幌第一高等学校、札幌市立札幌旭丘高等学校、札幌市立札幌新川高等学校、北海道千歳高等学校、北嶺高等学校
 参加チーム数 16チーム(8校)
 運営スタッフ感想 本大会初の地区予選大会で、主催する3金融機関(札幌信用金庫、札幌中央信用組合、北央信用組合)も初参画。不安と緊張の中、高校生の奮闘ぶりに次第に会場も活気を帯び、大変盛り上がりました。北海道大会行を決めた3チーム(公正取引委員会、北嶺ブラザーズ、ビッグマリオン)には、東京、ニューヨークを目指して是非頑張ってください。



北海道 上川・宗谷・留萌・オホーツク地区予選大会 11月9日(日)開催

主 催 旭川信用金庫・北星信用金庫・留萌信用金庫
 優勝チーム 北海道旭川東高等学校 「おみちゃんの狂想曲」
 参加校一覧 北海道留萌高等学校、北海道旭川東高等学校、旭川大学高等学校、北海道旭川商業高等学校、北海道士別翔雲高等学校、北海道下川商業高等学校
 参加チーム数 15チーム(6校)
 運営スタッフ感想 ・参加された高校生も楽しそうにクイズを解答しており、笑顔で帰って行かれたので大変有意義な一日でした。
 ・早押し問題では答えが出ない問題が多かったため、高校生が解答しやすい問題がたくさんあると良いと思いました。
 ・会場の雰囲気や臨機応変な対応で盛り上げてくれて良かったです。
 ・今回は初の予選で複数の金融機関の共催でしたが、他の金融機関の方たちとも交流を持つことができ良かったと思います。



北海道 釧路・根室地区予選大会 11月9日(日)開催

主 催 釧路信用金庫・大地みらい信用金庫
 優勝チーム 北海道釧路江南高等学校 「送籠」
 参加校一覧 北海道釧路湖陵高等学校、北海道釧路江南高等学校、北海道釧路明輝高等学校、北海道釧路商業高等学校、釧路市立釧路北陽高等学校
 参加チーム数 20チーム(5校)
 運営スタッフ感想 参加した生徒さんが、予想以上に喜んでくれたので良かったです。





北海道大会

12月7日(日)開催

主催 **北海道銀行**

参加校一覧 遺愛女子高等学校、北海道江差高等学校、北海道函館商業高等学校、北海道七飯高等学校、北海道音更高等学校、北海道芽室高等学校、北海道帯広柏葉高等学校、帯広市立帯広南商業高等学校、立命館慶祥高等学校、北海道江別高等学校、北海道札幌南高等学校、札幌第一高等学校、札幌市立札幌旭丘高等学校、札幌市立札幌新川高等学校、北海道千歳高等学校、北嶺高等学校、北海道留萌高等学校、北海道旭川東高等学校、旭川大学高等学校、北海道旭川商業高等学校、北海道士別翔雲高等学校、北海道下川商業高等学校、北海道釧路湖陵高等学校、北海道釧路江南高等学校、北海道釧路明輝高等学校、北海道釧路商業高等学校、釧路市立釧路北陽高等学校、北海道函館工業高等学校

参加チーム数 5地区で74チーム(28校)
5地区予選にて優秀な成績を収めた13チームが北海道大会に出場

運営スタッフ感想 信用金庫様・信用組合様主催により北海道内の5カ所で初めて地区大会が開催され、そこで優秀な成績を修めた13チームが北海道大会に出場しました。地区大会代表校同士の白熱した戦いに加え、広い北海道の各地から応援団が駆けつけ、例年以上の盛り上がりとなりました。



優勝チーム
北海道札幌南高等学校
「公正取引委員会」



青森大会

12月14日(日)開催

主催 **みちのく銀行**

参加校一覧 青森山田高等学校、青森県立青森商業高等学校、青森県立青森北高等学校、青森県立青森高等学校、青森県立木造高等学校、青森県立弘前実業高等学校、青森県立弘前南高等学校、青森県立弘前高等学校、八戸工業大学第二高等学校、八戸学院光星高等学校、青森県立八戸商業高等学校、青森県立五所川原工業高等学校、青森県立五所川原高等学校、青森県立三沢商業高等学校、青森県立三戸高等学校、青森県立むつ工業高等学校

参加チーム数 39チーム(16校)

運営スタッフ感想 青森大会の開催は今回が二回目でした。当日は寒波に見舞われ大雪で、また昨年より市外から参加頂く学校が多かったため欠席が続出するのではないかと心配しましたが、少数に留まり15校37チームと出場校・チーム数いずれも昨年を上回ることができました。事前の準備や大会の進行は2回目ということもあり、スムーズに行うことができました。ただ、第二ラウンド「早押しクイズ」では冒頭に早押し機が作動しないというトラブルが発生し、一瞬会場は気まずい空気が流れましたが、司会の機転や早急な復旧作業により事態を乗り切ることができました(笑)。決勝には昨年優勝したチームの生徒も進出し、全チーム僅差による死闘を繰り広げ、大会は大変盛り上がりしました。最後に、ご協力頂いた教育関係者をはじめとする関係者の皆様、悪天候の中お集まりいただき大会を盛り上げていただいた高校生の皆様に感謝とお礼を申し上げます。



優勝チーム
青森県立青森高等学校
「暗黒魔界」



宮城大会

12月14日(日)開催

主催 **77 七十七銀行**

参加校一覧 聖ウルスラ学院英智高等学校、東北生活文化大学高等学校、東北学院高等学校、宮城県工業高等学校、宮城県宮城広瀬高等学校、宮城県古川黎明高等学校、宮城県仙台第二高等学校、宮城県仙台第一高等学校、宮城県仙台南山高等学校、宮城県仙台二華高等学校、宮城県仙台三桜高等学校、仙台育英学園高等学校(宮城野校舎)、仙台白百合学園中学校・高等学校、仙台市立仙台青陵中等教育学校、仙台市立仙台商業高等学校

参加チーム数 39チーム(15校)

運営スタッフ感想 宮城大会の開催は今回で6回目ですが、出場チームは過去最高の39チームとなり、年々、この大会の認知度が高校生の間で高まっていることを非常に強く実感しました。宮城大会は、手に汗握る熱戦となり、最高の盛り上がりを見せた大会となりました。この大会にかける高校生の皆さんの想いが、年々強くなってきていることを改めて実感いたしました。なお、今大会は、高校生の皆さんに、宮城の復興に対する意識を高めてもらいたいという思いから、「復興を君の手で輝け!宮城の高校生!」というキャッチフレーズのもと大会を開催しましたが、優勝を目指して頑張っている姿は、まさに、キャッチフレーズにピッタリで、高校生の皆さんは大変輝いておりました。この大会への参加を通して学んだ金融や経済の知識を、これからの人生に是非活かしていただくことを強く期待します。来年の大会も是非皆さんで盛り上げていきたと考えておりますので、たくさんの方の参加を心よりお待ちしております。



優勝チーム
宮城県仙台二華高等学校
「にくわかめうどん」



秋田大会

12月13日(土)開催

主催 **秋田銀行**

参加校一覧 秋田県立能代高等学校、秋田県立秋田西高等学校、秋田市立秋田商業高等学校、秋田県立秋田高等学校、秋田県立大曲高等学校

参加チーム数 34チーム(5校)

運営スタッフ感想 今大会は秋田拠点センター「アルヴェ」で開催し、多くの方々にご覧いただきました。予選・決勝ともに各チームの奮闘により接戦となりましたが、秋田西高校の「ガガるか」が逃げ切り、優勝を果たしました。参加してくれた高校生の皆さん、ご引率の先生方、大会にあたり多大なご協力をいただいた、関係各所の皆様に心から御礼申し上げます。ありがとうございました。



優勝チーム
秋田県立秋田西高等学校
「ガガるか」





山形大会

12月14日(日)開催

主催 山形銀行

参加校一覧 山形県立米沢商業高等学校、山形県立山形東高等学校、山形市立商業高等学校、山形県立山形南高等学校、山形県立上山明新館高等学校

参加チーム数 42チーム(5校)

運営スタッフ感想 山形大会としては3回目の開催でしたが、過去最高となる33チーム66名と多くの高校生みなさんに参加いただきました。参加者からは、この大会をきっかけに新聞やニュースを見る機会が増えた、経済学部に進もうという気持ちが強くなったなど、嬉しいご意見をたくさんいただきました。この大会を通じて、より多くの高校生が金融経済に興味をもつていただき、生活に役立ててもらえるよう、次回以降も楽しく盛り上がる大会運営を目指していきます。今回の開催にあたり、ご参加いただいた高校生みなさん、ご尽力いただいた関係各所の皆様、運営へのご協力ありがとうございました。



優勝チーム
山形県立山形東高等学校
「果糖ぶどう糖液糖」



福島大会

12月7日(日)開催

主催 東邦銀行

参加校一覧 福島県立郡山東高等学校、福島県立福島高等学校、福島工業高等専門学校、福島県立福島高等学校、福島県立白河実業高等学校、福島県立白河高等学校、福島県立猪苗代高等学校、尚志高等学校、福島県立安積高等学校、福島県立会津高等学校

参加チーム数 13チーム(10校)

運営スタッフ感想
・今回で3回目の福島県大会となりましたが、昨年に引き続き、参加した生徒の皆さんが母校の代表として、地域の代表として"誇り"を持って本大会に臨んでいる姿を見て、我々スタッフも深く感動を覚えました。
・震災からの復興に向け、参加した生徒の皆さんがさらに研鑽を重ねて大きく成長し、福島県、日本、そして世界の将来を担う人材として活躍されることを心より期待したいと思います。



優勝チーム
福島工業高等専門学校
「モスコミュール」



茨城大会

12月14日(日)開催

主催 筑波銀行

参加校一覧 茨城県立竹園高等学校、茨城県立竜ヶ崎第一高等学校、茨城県立水戸第一高等学校、水戸啓明高等学校、茨城県立水戸商業高等学校、明秀学園日立高等学校、茨城県立日立商業高等学校、常磐大学高等学校、茨城県立太田第一高等学校、茨城県立土浦第一高等学校、茨城県立並木中等教育学校、茨城県立下館第一高等学校

参加チーム数 33チーム(12校)

運営スタッフ感想 決勝戦でもレベルの高い戦いが繰り広げられましたが、全体を通して学生たちが楽しんで参加してくれたことが嬉しく感じました。



優勝チーム
茨城県立水戸第一高等学校
「オレ達ノミクス」



栃木大会

12月14日(日)開催

主催 足利銀行

参加校一覧 栃木県立矢板東高等学校、栃木県立真岡高等学校、栃木県立栃木高等学校、宇都宮短期大学附属高等学校、宇都宮文星女子高等学校、栃木県立宇都宮女子高等学校、栃木県立宇都宮高等学校、國學院大學栃木高等学校、作新学院高等学校

参加チーム数 16チーム(9校)

運営スタッフ感想 2回目の開催となり、昨年のリベンジ8名を含む9校16チーム32名が参加してくれました。決勝ラウンドは問題が難しいのではと思いましたが優勝チームはほぼ第一ヒントで正解したというレベルの高さが全国大会での活躍を大いに期待しているところです。参加した高校生からは、「経済に対する興味もさらに深まった」「経済を学ぶチャンスになった」と嬉しい感想をたくさんいただきました。また、真剣に一生懸命クイズに取り組む高校生たちの活気にスタッフも楽しく運営することができました。栃木大会の様子は地元テレビ局で1時間の番組となって放映されます。今後もこの大会の周知に努め、さらに盛り上げていけるよう頑張っていきたいと思えます。



優勝チーム
栃木県立宇都宮高等学校
「とちおとめズ2」





群馬大会

12月14日(日)開催

主催 **群馬銀行**

参加校一覧 高崎経済大学附属高等学校、群馬県立高崎高等学校、群馬県立高崎女子高等学校、群馬県立高崎商業高等学校、群馬県立太田高等学校、群馬県立太田女子高等学校、群馬県立前橋高等学校、群馬県立伊勢崎商業高等学校、桐生市立商業高等学校、前橋育英高等学校、ぐんま国際アカデミー高等部

参加チーム数 26チーム(11校)

運営スタッフ感想 3回目となる群馬大会は過去最多26チームが参加し、賑やかな大会となりました。また、初参加校が4校と、群馬県内に次第に認知されてきたことが嬉しい限りです。さて、今大会は各チームの実力が伯仲し、決勝進出6チームの予選成績はほとんど差がありませんでした。決勝ラウンドでも各チームが第一ヒートから積極的に回答する緊迫した展開となり、最終的に1位と2位が同点で終え、見応えがありました。予選成績上位で優勝が決定したのは高崎女子高校の一年生でした、一年生チームそして女子チームの優勝は群馬大会初となりました。次回も高校生の皆さんに、楽しんでもらえる大会にしたいと思います。



優勝チーム
群馬県立高崎女子高等学校
「チームゆかりか」



埼玉大会

11月23日(日)開催

主催 **埼玉りそな銀行**

参加校一覧 浦和明の星女子高等学校、埼玉県立浦和高等学校、栄東高等学校、早稲田大学本庄高等学院、川越東高等学校、埼玉県立岩槻商業高等学校、埼玉県立熊谷高等学校

参加チーム数 30チーム(7校)

運営スタッフ感想 当日は29チーム58名による対戦と多くの高校生に参加いただき、大変盛り上がりしました。並み居る強豪を抑え、私立埼玉栄東高等学校の2年生チーム「ねこばんちですよ」が見事優勝を果たしました。今後も、高校生が楽しみながら金融経済について学べる機会として大会を盛り上げていきたいと思ひます。



優勝チーム
栄東高等学校
「ねこばんちですよ」



千葉大会

12月14日(日)開催

主催 **千葉銀行** **千葉興業銀行**

参加校一覧 千葉県立船橋高等学校、渋谷教育学園幕張高等学校、流通経済大学付属柏高等学校、千葉県立柏高等学校、千葉県立東葛飾高等学校、千葉県立八千代高等学校、千葉高等学校

参加チーム数 24チーム(7校)

運営スタッフ感想 第6回千葉大会は、多数の高校生に参加していただき、盛況のうちに終了しました。今大会の優勝チームは、前回千葉大会準優勝だったチームで、予選ラウンドも一位通過、見事前大会の雪辱を果たしました。また、決勝ラウンドが始まる前に、特別ゲストとして、昨年の千葉大会・全国大会を優勝したチームのおひとり(池田さん)に、全国大会の様子やニューヨーク研修旅行の感想をお話していただき、出場者へのエールもいただきました。開催にあたり、ご尽力いただいた関係者の皆様、参加してくれた高校生の皆さん、ありがとうございました。今後も千葉銀行と千葉興業銀行の共催で、千葉大会を盛り上げていきたいと思ひます。



優勝チーム
渋谷教育学園幕張高等学校
「まはる」



東京大会

11月9日(日)開催

主催 **りそな銀行**

参加校一覧 麻布高等学校、開成高等学校、東京都立立川高等学校、渋谷教育学園渋谷高等学校、本郷高等学校、国立筑波大学附属高等学校

参加チーム数 12チーム(6校)

運営スタッフ感想 今年、東京大会に臨んだのは12チーム24名の高校生たち。予選ラウンドから白熱した戦いを見せ、見事優勝を勝ち取ったのは、渋谷教育学園渋谷高等学校「小倉を送る会」チーム。昨年惜しくも決勝戦で敗退し、今年必ず優勝し全国大会に行くというベンジに燃えていた2人です。大会中は、高校生のみなさんが見せる、問題を解く真剣な表情やポイントを獲得した時のほじける笑顔に運営スタッフみんなも一緒になって一喜一憂しました。今後も、大会を通じてたくさんの高校生に楽しく金融知力の大切さを学んでもらえるよう取組んでいきたいと思ひます。



優勝チーム
渋谷教育学園渋谷高等学校
「小倉を送る会」





神奈川県大会

12月14日(日)開催

主催 横浜銀行

参加校一覧 逗子開成高等学校、聖光学院高等学校、神奈川県立鎌倉高等学校、神奈川県立海老名高等学校、神奈川県立横須賀高等学校、神奈川県立柏陽高等学校、神奈川県立平塚商業高等学校、神奈川県立厚木高等学校、神奈川県立厚木商業高等学校、神奈川県立光陵高等学校、湘南工科大学附属高等学校、洗足学園高等学校、武相高等学校、横浜雙葉高等学校、桐蔭学園高等学校、桐蔭学園中等教育学校、慶應義塾高等学校、公文国際学園 高等部、中央大学横浜山手高等学校

参加チーム数 40チーム(19校)

運営スタッフ感想 神奈川県大会は今回で7回目の開催となりました。19校から40チーム80人の高校生が参加し、過去最大規模となった今大会。当日は非常に高いレベルの戦いが繰り広げられました。参加者からは、「楽しかった。また参加したい」「この大会をきっかけに、今後も金融経済の勉強をしていきたい」という感想をいただきました。次回もたくさんの高校生の皆さんに楽しんでいただけるよう、より一層大会を盛り上げていきたいと思っております。



優勝チーム
神奈川県立横須賀高等学校
「ルイベノミクス2」



新潟大会

12月14日(日)開催

主催 第四銀行

参加校一覧 新潟県立長岡高等学校、山梨県立白根高等学校、新潟県立新発田商業高等学校、新潟第一高等学校、新潟県立燕中等教育学校、新潟明訓高等学校、新潟県立新潟商業高等学校、新潟県立新潟南高等学校、新潟県立新潟高等学校、新潟県立佐渡高等学校

参加チーム数 33チーム(10校)

運営スタッフ感想 今回で2回目の開催となった新潟大会は、エコノミクス甲子園が高校生に浸透したこともあり、前回の第一回大会を大きく上回る32チーム64名の高校生にご参加いただきました。非常に高いレベルの戦いが繰り広げられ、早押しクイズや決勝ラウンドでは常に接戦が続き、観覧者・スタッフ含め会場全体が大変盛り上がりしました。参加した高校生からは、「こんなに楽しい大会とは思わなかった」「来年も参加したい」など嬉しい意見をたくさんいただきました。次回もたくさんの高校生の皆さんに楽しんでいただけるような大会運営を目指していきます。開催にあたりご尽力いただいた関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。



優勝チーム
新潟明訓高等学校
「クイズ研究会B」



富山大会

12月7日(日)開催

主催 北陸銀行

参加校一覧 富山県立魚津高等学校、高岡龍谷高等学校、富山県立高岡高等学校、高岡向陵高等学校、片山学園高等学校、富山県立滑川高等学校、富山県立氷見高等学校、富山県立水橋高等学校、富山県立小杉高等学校、富山県立富山高等学校、富山県立富山中部高等学校

参加チーム数 25チーム(11校)

運営スタッフ感想 今年初のまとまった積雪となった中での開催となり、過去の悪天候時の開催日にも見られた参加者の連帯感のような雰囲気があった。また決勝ラウンドも同点トップが発生し、接戦であったので盛り上がりがあった。



優勝チーム
富山県立高岡高等学校
「いくぜ!やいぼう」



石川大会

12月14日(日)開催

主催 北國銀行

参加校一覧 石川県立金沢泉丘高等学校、金沢大学附属高等学校、石川県立金沢二水高等学校、星稜高等学校、石川県立小松商業高等学校、石川県立大聖寺実業高等学校、北陸学院高等学校

参加チーム数 14チーム(7校)

運営スタッフ感想 ・例年になく筆記試験から接戦で非常に盛り上がりました。
・問題が難しく答えられるチーム、答えられないチームの差があった。



優勝チーム
金沢大学人間社会学域学校
教育学類附属高等学校
「マーガリンロール」





福井大会

12月14日(日)開催

主催  北陸銀行

参加校一覧 福井県立高志高等学校、福井県立金津高等学校、福井県立藤島高等学校、福井県立羽水高等学校、福井工業大学附属福井高等学校、福井県立福井商業高等学校、福井県立武生高等学校、福井県立武生東高等学校、福井県立大野高等学校、福井県立坂井高等学校、北陸高等学校、仁愛女子高等学校、福井県立三国高等学校

参加チーム数 41チーム(13校)

運営スタッフ感想 降雪のため参加者を車で送迎する保護者があるまま観戦し、ギャラリーが40名ほどとなった。まずまずの盛り上がりであったが、一部の高校に悪ノリが目立った点が残念。



優勝チーム
福井県立藤島高等学校
「すべさん」



山梨大会

12月21日(日)開催

主催  山梨中央銀行

参加校一覧 山梨県立韮崎高等学校、北杜市立甲陵高等学校、甲斐清和高等学校、山梨県立甲府西高等学校、山梨県立甲府第一高等学校、山梨県立甲府東高等学校、山梨県立甲府南高等学校、山梨県立巨摩高等学校、山梨学院大学附属高等学校、山梨県立塩山高等学校

参加チーム数 29チーム(10校)

運営スタッフ感想 山梨大会は今回で4回目の開催となりました、10校・28チームと大勢のご参加をいただきました。実力が伯仲するなか、白熱した戦いが繰り広げられ、優勝したのは甲府南高校の2年生チーム「ユウグレナ其の式」、昨年は第3位と惜しくも全国大会を逃した2人が見事リベンジを果たしました。ご参加いただいた高校生の皆様、開催にあたりご尽力いただいた関係者の皆様ありがとうございます。皆様のご協力で笑顔と充実感に満ちた素晴らしい大会になりました。今後も、高校生の皆様が金融経済について興味をもってくださいかけ作りの場として、山梨大会を開催していきたいと思っております。



優勝チーム
山梨県立甲府南高等学校
「ユウグレナ其の式」



長野大会

12月7日(日)開催

主催  八十二銀行

参加校一覧 長野県野沢北高等学校、長野県諏訪清陵高等学校、松本秀峰中等教育学校、長野県松本深志高等学校、長野県松本工業高等学校、長野県屋代高等学校、長野県塩尻志学館高等学校、佐久長聖高等学校、長野県中野西高等学校

参加チーム数 17チーム(9校)

運営スタッフ感想 学生たちが楽しんで参加してくれたことがとても嬉しく感じました。



優勝チーム
長野県諏訪清陵高等学校
「ジャンダルム」



岐阜大会

12月14日(日)開催

主催  十六銀行

参加校一覧 鶯谷高等学校、岐阜県立関高等学校、岐阜県立郡上北高等学校、岐阜県立岐阜高等学校、岐阜県立岐阜北高等学校、岐阜県立大垣東高等学校、岐阜県立加茂農林高等学校

参加チーム数 14チーム(7校)

運営スタッフ感想 今年で5回目を迎えた岐阜大会は、前日より降り続く雪にもかかわらず13チーム26名の生徒が元気に会場を訪れ、雪も寒さも吹き飛ばす、熱い戦いを繰り広げました。問題に正解した生徒が見せるガッツポーズやハイタッチに我々スタッフも心躍らされ、一方で、不正解に落ち込む姿を見て生徒とともに悔しさを覚えました。大会の最後には、見事接戦をものにして全国大会出場を決めた「ランボルギーニ」チームへ、たくさんの賞辞と全国大会に向けた声援が贈られました。開催にあたり、参加してくれた高校生のみなさん、ご引率の先生方、ご協力をいただきました関係者のみなさまに厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。



優勝チーム
岐阜県立岐阜高等学校
「ランボルギーニ」





静岡大会

12月14日(日)開催

主催 静岡銀行

参加校一覧 静岡雙葉高等学校、静岡聖光学院高等学校、静岡学園高等学校、静岡サレジオ高等学校、静岡県立静岡高等学校、静岡県立藤枝北高等学校、静岡県立磐田南高等学校、知徳高等学校、静岡県立清水東高等学校、静岡県立浜松西高等学校、静岡県立沼津商業高等学校、不二聖心女子学院高等学校

参加チーム数 21チーム(12校)

運営スタッフ感想 4回目を迎えた静岡大会。県内各地から多くの高校生に参加頂き、参加者同士はもちろんスタッフとも交流を図りながら楽しい大会とすることができました。今回は、静岡大会初の女性チームの優勝となりました。高校生のみさんは事前にしっかり勉強して大会に臨んでくれ、決勝ラウンドでは、最終問題まで勝敗がもつれ込み、白熱した戦いとなりました。また、敗者復活戦には近似値クイズを取り入れるなど工夫を加えたため、とても盛り上がり、参加者全員が楽しんでくれたようです。



優勝チーム
静岡雙葉高等学校
[LUCIEN]



愛知大会

12月7日(日)開催

主催 愛知銀行

参加校一覧 聖カピタニオ女子高等学校、愛知県立知立東高等学校、愛知県立瑞陵高等学校、滝高等学校、海陽中等教育学校、愛知県立津島北高等学校、東海高等学校、旭丘高等学校、愛知県立一宮商業高等学校、大同大学大同高等学校

参加チーム数 25チーム(10校)

運営スタッフ感想 会場を新しい場所に替え、私自身も初めての大会準備・司会・進行で何かと大変でしたが、それ以上に楽しい時間を過ごすことができました。参加者の学生たちもとても良いリアクションをして会場をなごませてくれたり、スタッフにも気軽に声をかけてくれたりして、会場が一つになったとても充実した一日でした。参加者の皆さんお疲れ様でした!!ありがとう!!そして、全国大会出場を決めた2人、全国優勝目指して頑張ってもらえるよう、最大にサポートしていきたいです!!



優勝チーム
滝高等学校
[しむみよーる]



三重大会

12月7日(日)開催

主催 百五銀行

参加校一覧 三重県立松阪商業高等学校、三重県立川越高等学校、三重県立四日市商業高等学校、三重県立川越高等学校、セントヨゼフ女子学園高等学校

参加チーム数 23チーム(5校)

運営スタッフ感想 三重大会は4回目の開催となります。前回に引き続き、参加者、先生方、後援頂いた教育委員会様の協力により、楽しい大会となりました。関係いただいた全ての皆様に感謝です。今年は特に女子生徒の活躍が目立ちました。



優勝チーム
三重県立川越高等学校
[ダブルメガネ2世]



大阪大会

12月14日(日)開催

主催 リソな銀行 近畿大阪銀行

参加校一覧 関西創価高等学校、開明高等学校、清風南海高等学校、大阪市立扇町総合高等学校、大阪星光学院高等学校、大阪教育大附属高等学校池田校舎、大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校

参加チーム数 27チーム(7校)

運営スタッフ感想 今年のお大阪大会では、27チーム53名の高校生たちが参加してくれました。大会中は、終始盛り上がり、高校生たちの笑顔でいっぱいでした。予選ラウンドから真剣な表情で白熱した戦いを見せてくれました。大接戦を制し見事全国大会への切符を勝ち取ったのは、開明高等学校「ひよこを買いに行き!」チーム!「まさか優勝できると思っていなかった」と驚きながら語る2人の全国大会での大活躍を期待しています!今後も、大会を通じてたくさんの高校生に楽しく金融知識の大切さを学んでもらえるよう取り組んでいきたいです。



優勝チーム
開明高等学校
[ひよこを買いに行き!]





奈良大会

12月14日(日)開催

主催 **NANTO 南都銀行**

参加校一覧 西大和学園高等学校、東大寺学園高等学校、智辯学園奈良カレッジ高等部、帝塚山高等学校、奈良学園高等学校

参加チーム数 21チーム(5校)

運営スタッフ感想 今年当日2チームが欠席して19チームの対戦となりましたが、参加者が全員しっかりと事前に準備をし、高いレベルでの戦いが繰り広げられました。この大会をきっかけにして経済の勉強に興味を持た、幅広い知識を得る機会となった、大会は本当に楽しく来年もぜひ参加したい等、うれしい意見を聞くことができました。ご参加いただいた高校生の皆様、ご尽力いただきました関係各所の皆様、ご協力本当にありがとうございました。



優勝チーム
智辯学園奈良カレッジ高等部
「カチョカバロ」



鳥取大会

11月29日(土)開催

主催 **山陰合同銀行**

参加校一覧 鳥取県立鳥取西高等学校、鳥取県立鳥取商業高等学校、米子松蔭高等学校、鳥取県立米子南高等学校、湯梨浜高等学校、鳥取県立倉吉総合産業高等学校

参加チーム数 12チーム(6校)

運営スタッフ感想 鳥取大会は2回目となりましたが、県内全域から12チーム24名の参加がありました。初出場も3校あり、緊張した面持ちながら個性の光る高校生も多く、なかには「マネーキングになる!」などの発言も飛び出し、会場を大いに沸かせてくれました。決勝ラウンドは6チームとも善戦、なかでも「白いダース」と「MONEKINS」は最後まで抜きつ抜かれつの接戦を繰り広げました。最終的には同点となり、予選トップ通過の「白いダース」が見事昨年のリベンジを果たし、全国大会への出場権を獲得しました。



優勝チーム
鳥取県立鳥取西高等学校
「白いダース」



島根大会

11月30日(日)開催

主催 **山陰合同銀行**

参加校一覧 島根県立隠岐高等学校、島根県立松江商業高等学校

参加チーム数 7チーム(2校)

運営スタッフ感想 3回目となる今回の島根大会は参加が7チーム14名と、やや少数でしたが、14名中13名が女性で、開会式から既にテンションも高く、非常に女子力溢れる大会となりました。第2ラウンド早押しでも、正解・不正解に関係なく大変盛り上がりました。決勝ラウンドは「こくびーんず」と「隠岐高校」が最後まで接戦を繰り広げましたが、最終問題で決着、「こくびーんず」に軍配が上がり、見事全国大会への出場権を獲得しました。



優勝チーム
島根県立松江商業高等学校
「こくびーんず」



岡山大会

12月14日(日)開催

主催 **中国銀行**

参加校一覧 岡山県立笠岡商業高等学校、玉野市立玉野商業高等学校、新潟清心女子高等学校、朝日塾中等教育学校、岡山県立岡山芳泉高等学校、岡山白陵高等学校、岡山県立岡山東商業高等学校、岡山学芸館高等学校、岡山大安寺中等教育学校、岡山高等学校、山陽女子高等学校、倉敷市立精思高等学校、岡山県立倉敷天城高等学校、岡山県立倉敷商業高等学校

参加チーム数 83チーム(15校)

運営スタッフ感想 今年も多数のエントリーをいただき、全国最大規模の大会となり、大いに盛り上がりました。早押しラウンド中に、生徒を退屈させない工夫として、全員参加のチャレンジクイズ(中国銀行に関する3択問題)を7回実施し、大好評でした。次回もたくさん的高校生にエントリーしてもらうために鋭意努力、工夫していきます。



優勝チーム
倉敷市立精思高等学校
「チームわかば」





広島大会

11月16日(日)開催

主催 もみじ銀行

参加校一覧 広島県立総合技術高等学校、広島県立竹原高等学校、清水ヶ丘高等学校、広島市立舟入高等学校、広島市立広島商業高等学校、広島学院高等学校、広島大学附属福山高等学校、広島県立広島商業高等学校、広島県立尾道商業高等学校、尾道高等学校、安田女子高等学校、広島県立呉商業高等学校、修道高等学校、ノートルダム清心高等学校

参加チーム数 36チーム(14校)

運営スタッフ感想 今回で3回目となる広島大会ですが、過去最高の14校36チームの参加があり、高校生の中でエコ甲の認知度も上がっていると実感できました。早押しクイズでは、高校生、観客、そしてスタッフまでもがクイズや応援に熱くなり会場は熱気に溢れていました。大会が終わり高校生たちからは「こんなに楽しい大会とは思わなかった!」「来年も絶対に参加します。」と沢山の嬉しい声を聞くことができ、私たちスタッフも達成感に満ちています。



優勝チーム
修道高等学校
「合わせて24」



山口大会

11月9日(日)開催

主催 山口銀行

参加校一覧 山口県立防府商工高等学校、京都市立西京高等学校、山口県立萩商工高等学校、聖光高等学校、慶進高等学校、下関市立下関商業高等学校、山口県立山口高等学校、山口県立宇部高等学校、山口県立宇部商業高等学校、山口県立下関西高等学校、山口県立下関中等教育学校

参加チーム数 26チーム(11校)

運営スタッフ感想 県内各地から25チーム50名の高校生が参加し、熱く楽しく知識を競い合いました。激しい接戦の末、決勝ラウンド最終問題で他チームを引き離し、見事優勝を果たしたのは宇部高校「チームフィジカル」。チームの一人、縄田君は、3年連続全国大会出場を果たした強者です。参加した高校生からは、「とても楽しかった。来年こそリベンジしたい!」「いただいた資料はとても興味深い。もう一度目を通してしっかり学びたい」との声が聞かれました。大会を通じて楽しく学ぶ高校生の姿や、「来年もまた来ます!」という高校生からの声で、スタッフ一同心地よい満足感に包まれました。大会を盛り上げてくれた参加者の皆さん、ご協力いただきました高校の皆さま、関係者の皆さま、本当にありがとうございました。



優勝チーム
山口県立宇部高等学校
「チームフィジカル」



徳島大会

12月14日(日)開催

主催 阿波銀行

参加校一覧 徳島県立阿波高等学校、徳島県立脇町高等学校、徳島県立池田高等学校、徳島市立高等学校、徳島県立徳島商業高等学校、徳島県立城東高等学校、徳島県立城ノ内高等学校、徳島県立名西高等学校

参加チーム数 24チーム(8校)

運営スタッフ感想 今回も多数の高校生に参加いただき、大いに盛り上がった徳島大会となりました。開催にあたり、多大なご協力を賜りました関係各所の皆様に厚く御礼申し上げます。今回は、予選ラウンドの上位6チームが5点差以内という接戦になりましたが、決勝ラウンド3ヒントクイズで安定感を見せた徳島市立高校「チームそろばん」が見事優勝を飾りました。次回も、より多くの高校生に楽しんでいただける徳島大会を開催し、エコノミクス甲子園を盛り上げていきたいと思っております。



優勝チーム
徳島市立高等学校
「チームそろばん」



香川大会

12月7日(日)開催

主催 百十四銀行

参加校一覧 香川県大手前高松高等学校、香川県立高松西高等学校、香川県立高松桜井高等学校、香川県立観音寺第一高等学校、香川県立小豆島高等学校、香川県立土庄高等学校、香川県立三本松高等学校

参加チーム数 21チーム(7校)

運営スタッフ感想 今年は昨年のリベンジを果たすべく、参加されたチームが多く、また女性チームも多く参加され、大変もりあがりました。今年は高松高校の「乾ベンチ」が優勝し、見事昨年のリベンジを果たしました。参加者の皆様、関係者の皆様、ありがとうございました。



優勝チーム
香川県立高松高等学校
「乾ベンチ」





愛媛大会

11月16日(日)開催

主催 **伊予銀行**

参加校一覧 愛媛県立西条高等学校、愛媛県立松山西中等教育学校、愛媛県立松山東高等学校、愛媛県立松山工業高等学校、愛光高等学校、愛媛県立宇和島東高等学校、愛媛県立大洲高等学校、愛媛県立土居高等学校、愛媛県立今治西高等学校、愛媛県立今治東中等教育学校

参加チーム数 29チーム(10校)

運営スタッフ感想 今年もショッピングモールのエミフルMASAKIにて、やのひろみさんの司会のもと、大勢の方々にご観覧いただき開催しました。笑い緊張感が交錯する、個性溢れる高校生たちの大熱戦の末、優勝を勝ち取ったのは、なんと4連覇となる「マネタリズム」！(同校内でチーム名を代々受け継いでいます。)最後には涙ありの感動的な大会となりました。今回の開催にあたりご協力を賜りました教職員の方々をはじめとする関係者の皆さま、真剣に大会に挑戦してくれた高校生の皆さん、大会を見守ってくださったご観覧の皆さまに心より御礼申し上げます。



優勝チーム
愛媛県立松山西中等教育学校
「マネタリズム」



福岡大会

12月14日(日)開催

主催 **西日本シティ銀行**

参加校一覧 福岡県立筑紫丘高等学校、立花高等学校、福岡第一高等学校、東筑紫学園高等学校、福岡県立大牟田北高等学校、福岡県立修猷館高等学校、久留米工業高等専門学校、久留米大学附設高等学校

参加チーム数 16チーム(8校)

運営スタッフ感想 過半数が県大会優勝を狙っており、休憩時間も利用して真剣にクイズに挑む高校生の皆さんが大会を大いに盛り上げてくれました。参加された皆さんがこのクイズ大会を機に金融経済への興味を一層深めて下さることを願っています。



優勝チーム
福岡県立筑紫丘高等学校
「組んずホグれつ」



高知大会

11月16日(日)開催

主催 **四国銀行**

参加校一覧 高知県立高知追手前高等学校、高知県立高知小津高等学校、高知学芸高等学校、土佐高等学校

参加チーム数 6チーム(4校)

運営スタッフ感想 参加チームが少なかったものの、緊迫した戦いでした。地元の新聞が1面を使った特集記事をくんでくれることになりました。来年は知名度も上がりますので、たくさんのチームに参加してもらいさらに盛り上げたいと思います。



優勝チーム
高知県立高知小津高等学校
「チーム小津」



長崎大会

12月7日(日)開催

主催 **十八銀行**

参加校一覧 青雲高等学校、長崎女子商業高等学校、長崎南山高等学校、精道三川台高等学校、長崎県立長崎東高等学校、長崎県立諫早商業高等学校、長崎県立佐世保北高等学校、創成館高等学校

参加チーム数 10チーム(8校)

運営スタッフ感想 参加チーム9チーム(1チームは当日欠場)とアットホームな展開が予想されましたが、予選第一ラウンド(筆記)、第二ラウンド(早押し)ともに僅差のなか決勝ラウンド進出チームが決定しました。決勝ラウンドでは正解チームが続出し、何番目のヒントで回答するかの駆け引きが大きく勝負の行方を左右する展開となり、予想以上に白熱した戦いが行われました。最終的に予選第三位のチームが逆転優勝を果たし、「あの時の一問が…」と悔やむ第二位のチームのコメントが印象的でした。



優勝チーム
精道三川台高等学校
「チーム精道」





宮崎大会

11月30日(日)開催

主催 宮崎銀行 宮崎太陽銀行

参加校一覧 宮崎県立高鍋高等学校、宮崎県立都城西高等学校、宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校、宮崎県立日向工業高等学校、宮崎県立小林高等学校、宮崎県立宮崎西高等学校、宮崎第一高等学校、宮崎県立宮崎大宮高等学校

参加チーム数 23チーム(8校)

運営スタッフ感想 宮崎県大会は3回目となり、参加高校も県内各地へ広がりを見せつつあります。会場には高校生の元気があふれ、関係者全員に笑顔が広がる活気ある大会となりました。また、今回の宮崎大会は、MRT宮崎放送の番組「わけもん!GT」による取材が行われており、生徒たちへの事前取材も含め、後日番組として放送される予定です。今後も地域のマスコミや、関係者と連携しながら、更なる広がりを探求していきたいと思います。



優勝チーム
宮崎県立宮崎西高等学校
「Dclove2(ディークラブ2)」



鹿児島大会

12月21日(日)開催

主催 鹿児島銀行

参加校一覧 鹿児島情報高等学校、鹿児島実業高等学校、鹿児島高等学校、鹿児島県立鶴丸高等学校、甲南高等学校、樟南高等学校、鹿児島県立明桜館高等学校、志学館高等部、ラ・サール高等学校

参加チーム数 23チーム(9校)

運営スタッフ感想 参加した高校生が、白熱して非常に盛り上がった大会となりました。



優勝チーム
鹿児島県立鶴丸高等学校
「SEAK」



沖縄大会

12月14日(日)開催

主催 沖縄銀行

参加校一覧 沖縄県立首里高等学校、沖縄県立陽明高等学校、沖縄県立開邦高等学校、沖縄県立那覇国際高等学校、沖縄県立那覇商業高等学校、沖縄県立那覇高等学校、沖縄県立読谷高等学校、沖縄県立浦添商業高等学校、沖縄県立向陽高等学校、沖縄尚学高等学校、昭和薬科大学附属高等学校、沖縄県立名護商工高等学校、沖縄県立具志川商業高等学校、沖縄県立八重山商工高等学校、沖縄県立中部商業高等学校

参加チーム数 44チーム(15校)

運営スタッフ感想 昨年同様、沖縄県の高校生に人気ラジオ番組のパーソナリティ2人を司会としてお迎えし、野外で開催しました。そして初めて、離島から八重山商工高校(石垣市)が初参戦し、本大会が知名度を上げてきていることを実感できる大会となりました。また、エコノミクス甲子園をより多くの方に知っていただく為に、テレビ放送を行います。今後も、沖縄銀行は本大会を通じて、青少年の健全育成や金融知識の普及に貢献してまいります。



優勝チーム
昭和薬科大学附属高等学校
「ますらをぶり」



インターネット大会

11月24日(月)開催

主催 住信SBIネット銀行

参加校一覧 関西学院高等部、野田学園高等学校、西大和学園高等学校、立命館宇治高等学校、瀬高等学校、淳心学院高等学校、海城高等学校、兵庫県立津名高等学校、京都府立洛北高等学校、北海道札幌南高等学校、本郷高等学校、智辯学園奈良カレッジ高等部、千葉県立成田国際高等学校、札幌第一高等学校、埼玉県立川越女子高等学校、岡山県立岡山山東商業高等学校、山手学院高等学校、広島県立尾道商業高等学校、宮崎県立宮崎西高等学校、名古屋高等学校、福島県立あさか開成高等学校

参加チーム数 55チーム(21校)

運営スタッフ感想 <講評> このたびは、第九回エコノミクス甲子園 インターネット大会にご参加いただき、ありがとうございました。当日は、北は北海道、南は宮崎県まで、全国55チームの高校生に参加していただきました。大会当日までの事前準備で、金融・経済について楽しく学んでいただけたでしょうか。インターネットを通じ、遠く離れたところで、同じ時間に、同じ問題に取り組みましたみなさまにとって、今後の人生につながる何かを得られたとすれば、大会実施者として大変うれしく思います。さて今回は、インターネット大会「優勝」のほかに、「住信SBIネット銀行特別賞」をご用意いたしました。「論述クイズ」の回答において、柔軟な発想で新しい発見や気付きを見出したチームに、「住信SBIネット銀行特別賞」をお贈りいたします。今回の問題にもありました、2020年東京オリンピックが開催される頃、みなさまは何をされているでしょうか? 「論述クイズ」に回答いただいた金融への新しい取り組みが、その時に実現されているかもしれません。
<運営スタッフ感想> 今大会は、過去最多の55チーム、21校のご参加をいただきました。インターネット大会は他の大会とは異なり、お互いの顔が見えない中での開催となりますが、インターネットを介して全国の高校生が同時に問題に取り組むことに、主催者として物理的な距離を超えた一体感を感じることができました。ご参加いただきました高校生のみならず、開催にあたりご尽力いただきました関係者のみなさまに御礼申し上げます。来年も、たくさんの皆さまのご参加を、ネットでお待ちしております!



優勝チーム
京都府立洛北高等学校
「ライオンモード」

準優勝チーム
関西学院高等部
「関学高理科部」

3位チーム
宮崎県立宮崎西高等学校
「みゆーず」



1 日目

全国大会、最初のラウンドは筆記クイズです。地方大会では2人で協力して4択問題を解答することができましたが、全国大会での筆記クイズは完全な個人戦。その上、4択問題だけでなく記述・論述問題を解くことが必要です。周囲の鉛筆を走らせる音が40分の制限時間をより短く感じさせ、高校生の焦りと緊張を高めていきました。

筆記クイズの後は、ロイヤルホールディングス・菊地唯夫社長の講演会。「ロイヤルホスト」や「てんや」をはじめとして高校生にも身近な多くの外食ブランドを抱えるロイヤルホールディングスの事業戦略や今後の展望をお話頂きました。

この「ロイヤルグループの経営戦略」が、重要になるのが次のラウンド「プレゼンクイズ 2040年への大戦略」です。ここでは、国内人口が激減している25年後を舞台に地方都市の商工会議所長や農家の後継ぎなどの立場から、チームごとに戦略を発表するロールプレイング型のプレゼンテーションを行います。発

表の場である前夜祭までに残された時間はわずか4時間程度。発表の際に使用できるのは模造紙1枚です。昼食をとりながらも、くじ引きで分けられたチームで話し合いが行われます。エコノミクス甲子園に集った全国各地それぞれの視点から多くの案が出され、議論が白熱していきました。また高校生にはコンサルチケットが手渡され、マニユライフ生命、ロイヤルホールディングスの方から10分ずつ2回のアドバイスを受けることができます。このコンサルを受けるタイミングも、よりよいプレゼンを完成させるために重要なポイントとなりました。そして迎えた前夜祭では、来賓の方々に10点満点で審査していただきました。

前夜祭終了後は、金融知力普及協会プロデュースのエコノミカ大会です。地方大会優勝の際に1デッキずつが贈られた経済TCGエコノミカを用いて、学生スタッフも交えての対戦です。この時に備えオリジナルのデッキを組んできた高校生も多く、どのテーブルでも熱のこもった試合が行われました。



2 日目

■ 第1ラウンド 取引開始!オープニングベル早押しクイズ

五十音順で4チームずつ10組が参加する早押しクイズ。速さと正確性を競うこのラウンドは、クイズに情熱を向ける高校生にとっては格好の見せ場です。4チーム1組で2問ずつ答えることができますが、2つとも解答できたチームがなかったことから、全国大会のレベルの高さと各チームの実力が拮抗していることが窺えます。



■ 第2ラウンド 摘発せよ!風説の流布クイズ

プレゼンテーションでの組分けを基に、8チームずつ壇上へ上がり多答問題に挑戦します。壇上のチームは、正解・不正解に関わらず20点ずつ得ることができますが、客席にいるチームに疑わしい解答を摘発された場合、1件につき正解であれば2点の加点、不正解ならば2点の減点がなされます。「ユーロ圏の国はどこか?」という問題に「イギリス」と解答し31件の摘発が入って得点が0点になったチームもある一方で、正解に4件の摘発が入り、一気に周囲を引き離れたチームもあり、非常に盛り上がりを見せたラウンドでした。



■ 敗者復活ラウンド:市場淘汰!サバイバルクイズ

昼休憩をはさみ、2日目の筆記とプレゼンテーション、午前に行われた第1、第2ラウンドの得点の合計点によって、次のラウンドへ進める20チームが発表され、壇上へ上げられます。しかし、全チームが上がったところでスクリーンに映されたのは、「敗者復活ラウンド」の文字。客席に残されていた高校生が上位ラウンド進出チームであることが明かされ、壇上の高校生が困惑する一方、客席の高校生は抱き合ったり喜び、他チーム同士でも握手をして沸き立つ様子が見られました。第9回大会最大のサプライズ演出です。

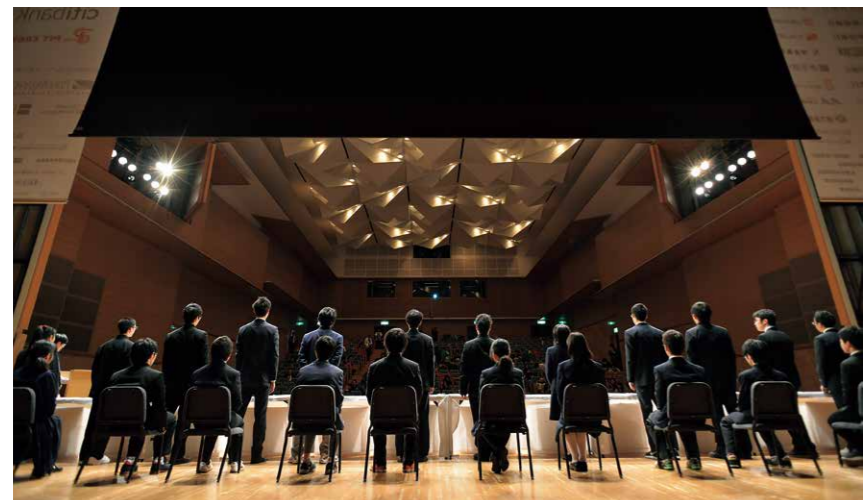
サバイバルクイズでは、壇上の全員が三角帽子をかぶった状態でスタートし、読み上げられた誤答するごとに1つ帽子を失い、チームの2人とも帽子を失うと失格です。下から順に20チームが並べられ、誰かが正解するまで、同じ問題に答えなければなりません。実際に「リバースモーゲージ」が解答となる問題では、誤答が相次ぎ、14チームが帽子を失いました。このラウンドで、札幌南、洛北、修道、滝の4チームが復活しました。





■ 第3ラウンド クイズ! Time is Money

3択問題が1分間で12問出題され、札を上げて解答するラウンド。偶数順位・奇数順位の12チームのグループに分かれて行われました。1日目の筆記クイズと同様、こちらも地方大会にはないチーム1人ずつの挑戦です。1問あたり5秒以内に解答しなければならない緊張の中でできる限り多く得点できるように集中して取り組みます。ここで、それぞれ上位4チームずつ計8チームが次のラウンドに進出しました。



■ 第4ラウンド 放て、3本の矢!アベノミクスクイズ

第3ラウンドまでを勝ち残った宇部、高松、諏訪清陵、滝、札幌南、宮崎西、栄東、甲府南の8チームが挑戦したこのラウンドは、「金融」「財政」「時事・経済史」の3つのジャンルすべてで3ポイント以上を獲得することを求められるボードクイズが行われました。ジャンルの選択権は第3ラウンド順位順のため、自分のチームのノルマを達成することをめざし、他チームのノルマ達成を妨害するため、どのジャンルを選択するか戦略を立てることも、カギとなります。英語で出題され、英語で解答しなければならない問題や全チーム誤答するような難易度の高い問題の中、勝ち抜けたのは、宮崎西、札幌南です。



■ 決勝ラウンド 一騎打ち!クロージングベル論説クイズ

第9回エコノミクス甲子園全国大会、最後を飾るのは、これまでに決勝戦での例がない2チームでの論説クイズ。前半は、相手チームに論説の中で使えるワードの制限などを加えることができるアイテムを得られる早押しボードクイズを行い、後半に3分の論説対決を行いました。論説のテーマは、「『量的緩和政策』とは何で、私たちの生活への影響とはどのようなものか、またその影響に対し、どのように金融知力を役立てることができるか、わかりやすく説明してください」というもの。早押しボードクイズでは、どちらのチームも自分の解答のタイミング以外でも正解するなど、非常にレベルの高い戦いが見られ、論説対決でも、両者ともに会場を大いに沸かせました。また、スピーチの後には金融知力普及協会・野中ともよ理事からサプライズで、「ここに安倍首相がいたら、アベノミクスについて何というか」という質疑が投げかけられ、両チーム30秒で回答しました。5名の審査員の旗揚げによる判定で、4対1で宮崎西の優勝となりました。





宮崎県立宮崎西高等学校
宝蔵 花穂

エコノミクス甲子園全国優勝を果たし手に入れた今回のニューヨーク研修旅行。憧れの地であったアメリカ、ニューヨークでの5日間を通して、私のこれまでの考え方や視点は大きく変わりました。私の夢をより具体的に大きくしてくれたこの旅を、ニューヨークという街、メインの企業訪問の様子、そして研修旅行を通して変化したことの3点を中心にレポートしたいと思います。

私たちが今回訪れたのは、ニューヨーク市のマンハッタン島。ジョン・F・ケネディ空港に到着しマンハッタンに向かう車の中からみた摩天楼の迫力は、12時間のフライトの疲れも吹き飛ばすほどのものでした。

マンハッタンの街でまず日本との違いを感じたのは、道路の荒さと建物のデザインの斬

新さです。あまり整備されていないデコボコした道をハイスピードで走る車に乗ると、ジェットコースターに乗った時のような恐怖を瞬感することもありました。また、マンハッタンの建物はとにかく高く、そしてガラス張りのものが多くあります。私は、以前訪れたことのある韓国ソウルとどこか似ている景色に、地震の少ない地だからこそできるデザインなのだろうかと思いつきました。また街並みを観察すると、現代風の高層ビルから石造りで歴史を感じさせる建物まで、新旧が共存しているのが印象的でした。

いざ車を降り街を歩いてみると、今度は人種の多様さに驚かされます。黒人に白人、アジア系など様々な容姿の人や、一見日本人なのにネイティブの英語を話し出す人を見ることがあります。同時に、外見の全く違う人々がお互いを尊重して生活している姿に、アメリカ人の他者への寛かさを見ました。

ニューヨークといえば多くの観光スポット。訪問する企業数が例年以上のため観光する暇はあまりないと伺っていましたが、実際終わってみると、国連本部ツアーやロックフェラーセンターの展望台、タイムズスクエアでのショッピング、バッテリーパークからの自由の女神見物、メトロポリタン美術館散策、ミュージカル「ウィキッド」の鑑賞などかなり満喫していました。特に将来の選択肢として国連職員を考えている私にとって、国連本部で193カ国の国旗や実際に使われている会議場を見たことは、ここで働きたいという私の思いをさらに強くしてくれました。

ニューヨークの街に欠かせない要素として「食」があります。5日間を通して私たちは、高級レストランのステーキから、屋台のハラルフードまで様々な食を味わうことができました。最終日には念願だったアメリカの寿司を食べ、海外ならではのマンゴー入りカリフォルニアロールの美味しさに驚かされました。アメリカと

人が共に働くときにはコミュニケーションに誤解が起きやすく、人としての誠意が重要になってくるというお話が心に残っています。次に訪れたのはパインブリッジ・インベストメンツという運用会社です。これは後で分かったことですが、アセットアロケーションと株取引、それぞれの会社トップの方からお話を伺うことができました。オールイングリッシュで日本の経済のこれからについての質問を投げかけられたりと戸惑いもありましたが、とても密度の濃い時間でした。日々は常に変化しており毎日勉強し続けなければならないという言葉聞き、まずは英語のスピーキング能力を鍛えて自分の考えを伝えられるようになりたいと強く感じました。

時差ボケがようやく治ってきた4日目、私が最も楽しみにしていたニューヨーク証券取引所、NYSEを訪問しました。エコノミクス甲子園の対策で外見を覚えていたあの建物が目の前に現れ感動に包まれたのもつかの間、いざ中に入るとグラフや英語だらけのコンピュー

ター画面を前に働く人々や、テレビで見たあの流れる電光掲示板、テレビの生放送収録などその活気に圧倒されました。日系アメリカ人のスタッフの方に英語で案内して頂き、フロアやオープニングベル、会議場についての説明を受けました。出来るだけ英語でコミュニケーションを取りたいと思いスタッフの方へ近づいて歩いてみると、その方は日本食ではナスとカレーがお好きだという情報を得ることができました。世界金融の中心地としてのNYSEの光景とその活気は私の胸に強く刻まれています。最後の訪問先として訪れたのはシティバンク。フロア見学では、女性社員の方からお話を伺いました。私たちが訪問したのはまさに取引真っ只中の時間帯。お話ししている間もしょっちゅうコンピューターに顧客からの通知が来てそれに女性に対応し…と業務される姿を生で拝見することができました。このフロアには女性が多いことが特徴で、メンタルケアを充実させているそうです。フロア見学を終

え、オフィスの最上階のお部屋で昼食をいただきながら、日本の4人の方とお話しました。みなさん金融の仕事に至ったキャリアは様々でしたが、やりがいや誇りをもってお仕事されている姿に憧れを感じました。日本経済についての話題になった時は、楽観的なものや悲観的なもの、日本を外から見たそれぞれの意見を聞かせていただき、経済は視点により様々な見方があることを実感しました。

これらのニューヨーク研修旅行における企業訪問や観光での学びを通じ、私の中で2つのことについての見方が大きく変わりました。

まずは英語についてです。今回の旅で気付いたのは、アメリカ人はちょっとしたコミュニケーションを大事にしているということ。アメリカ人は個人主義とよく言われますが、実際行ってみると店員さんと、エレベーターで会った人と、などちょっとしたコミュニケーションをとる場面が多いように感じました。旅行前は高校までに習った文法を使えば何とかできるよう



いうと、高カロリーなジャンクフードばかりというイメージがあります。しかし5日間見ただけでも、お馴染みのハンバーガーからオーガニックのスムージーやサラダ、またイスラム教徒も安心のハラルフードや世界各国の料理など、実際はそこに生活する人々と同じだけニューヨークの食には多様性がありました。

このようにマンハッタンには、多様な食、文化、建物などまさに「人種のるつぼ」といえる光景が広がっていました。今は短い期間の研修を終え、次はもっと長く滞在してこの街を知りたいという思いが募っています。

今回の研修旅行において、私たちは2、3、4日目の3日間で7箇所もの企業や取引所を訪問させて頂きました。債権や株、投資信託や為替など様々な分野で働く方々のお話はとても刺激的なものでした。

2日目にまず訪れたラッセル・インベストメントでは、現地のアメリカ人女性お2人からオール

イングリッシュで説明して頂きました。ネイティブの英語のスピードに圧倒されつつ、手渡された資料を見ながらの理解に努めました。信託においてDesign, Construct, Manageの3つの過程を経て業務を行っているというお話や、仕事する上でどこで働くかということは重要だというお話が印象に残っています。2日目のMOF、日本の財務省の領事館では、実際に外交官をしていらっしゃる方からお話を聞くことができました。日本語で得られる情報は英語のそれに比べて圧倒的に少ないということ、また若い頃から金融に関する教育を頂き、世界という舞台で戦う私たちにとっての英語や金融知力の重要性を改めて感じました。3日目のタイガー・パンフィック・キャピタルは日本、中国、韓国の内需関連株を取り扱っており、3カ国3人の方で創設された会社です。地上46階からマンハッタンを一望できるオフィ

スで、社長の方から仕事内容や私たちの職業選択において大切なことについてのお話を伺いました。特に私になるほど、と思ったのは、職業分析をするときはロケーション(場所)、インダストリー(業界)、ファンクション(機能)の3つに優先順位をつけ、内2つは満たすような選択をせよということです。将来についてこのように整理された考え方をしたことのなかった私へ大切な指針を教えてくださいました。

1日で3社回るという盛り沢山な2日目を終え、3日目にまず訪れたのは三菱東京UFJ証券です。日本人社員の男性にフロア内を案内して頂きました。大量のコンピューターが整然と並べられた広い部屋や、比較的偉い方がいらっしゃる個室、またインサイダー情報取り扱いのため外からは見えないようになっている部屋などを見せていただき、エコノミクス甲子園で得た知識と実際の現場とを比較したり重ね合わせたりすることができました。国籍の異なる

人でしたが、実際に物などしてみると、相槌のレパートリーの少ない私は彼らのフレンドリーさについていけないことが多く、コミュニケーションを重視した英語をもっと鍛えていきたいと考えるようになりました。

次に人生の進路についてです。今回の企業訪問でお話した方々は、実に様々な経歴やバックグラウンドを持っていました。大学で経済やファイナンスを専攻していたとは限らず、文学や美術史を学んでいた方もいます。多くの方は大学院やビジネススクールで専門知識を学ばれたそうです。つまり大学や高校の頃からこの業界を目指されていたものだと思っていた私には驚きでした。大事なことは、人生のある地点で一度立ち止まって自分自身を振り返り、道を選択し、それを実行に移す努力をすることなのだと思います。今はこれからの大学生活を通して、選択の柔軟さや自分を客観的に見つめる力を身につけていきたいと感じて

います。最後になりましたが、私たちにこのような大きく貴重な機会を下さったすべての皆様に感謝の気持ちを伝えたいと思います。経済という分野を通して、様々なことを教えてくれたこの大会に出場して本当に良かったと思います。拙いレポートを最後までお読みいただきありがとうございました。





宮崎県立宮崎西高等学校
井上 桃子

3月22日、午前4時起床。
武蔵小杉でホームが長すぎて成田エクスプレスが到着しているのに気づかず乗り損ねそうになりながら乗車。東京スカイツリーを臨む荒川の橋を過ぎて、ようやく明るくなっていく空を眺め、居眠りしていると、降りる駅を間違えました。二人でスーツケースを引いて走り、なんとか周遊シャトルバスに乗ってターミナルに到着……。

波乱の旅の幕開けでした。
777-300の翼を傍らに、西海岸のオレンジの夜景や凍ったエリー湖の上空を行き、12時間のフライトを経て着陸したJFK空港は摂氏2度。極寒です。
JFK空港からマンハッタン島まで、日本のよ

うに完全に舗装されていない道路を交通マナーもおざなりに走るバスに乗り、マッチ箱のような市営住宅が橋を越えると巨大なビル群に代わるのを眺めているとアメリカ・ニューヨークに来た実感がわき、少なくとも宮崎ではありません、と思いました。

宿舎となるマリオット・マーキースに荷物を置き、途中で昼食をとりながら徒歩45分かけて最初に向かうのは国連本部、のほろほろでしたが、2分遅れの差であえなく入れず、ロックフェラーセンターの展望台を見学することになりました。途中で立ち寄ったグランドセントラルには、天井や飾り窓に、星座やそれにまつわる彫刻が施されていて、忙しく行き来する人々の生活に密着しながらも、歴史を感じさせる駅の様子がとても新鮮に映りました。展望台では、時差ぼけ解消の仮眠を挟んで日なかから暮れあいまでのニューヨークを見渡し、翌日からの研修に思いをせました。またニューヨークからはどこでも見えると思っていた自由の女神

が遠く豆粒大に見えるのは個人的にかなり衝撃的でした。

3月23日。
研修初日、一番に訪れたのはRussell Investments。訪問先1社目からオールイングリッシュで臨まなければならないという緊張の中、準備いただいた資料を基に、Russell Investmentsの歴史や業務についての説明をしていただきました。具体的な話を交えながら、とてもいい感じにご説明いただきましたが、専門的な金融の話になると、やはり聞き取れない部分が多く、自分の語学力不足を痛感し、とても悔しい思いをしました。理解できた範囲では「建設的な思考」「対人関係のスキル」が重要であるというアドバイスをいただきました。

この日は2つめの訪問先まで時間が空いたので、自由の女神が見えるバッテリー・パークに行きましたが、風が強く非常に寒かったので、すぐウォール街に移動し、25日に向か



供されていて、日本のいわゆるブラック企業との職場の違い、働き方の違いを考えました。

次に訪れたPINE BRIDGE investmentsでは、再びオールイングリッシュでした。滞在3日目ともなると少しは英語に慣れたのか、前日より聞き取ることができ、私たちの質問にジョークを交えて答えていただくことができました。反対に「日本の若者は日本についてどう考えているのか?」という質問をされた際に、自分の考えを伝えられず、歯がゆい思いをしました。

夕方には初日に諦めた国連本部に向かい、運よくミレニアム貧困目標の会議をしている場にも一瞬だけ立ち会うことができました。ちなみにここでは潘 基文国連総長をはじめとする歴代国連総長のポストカードが1枚65セントで販売されていて、小銭を消費しつつおみやげを買うのにとても助かりました。

また、この日の夜は、ブロードウェイでミュージカル「WICKED」を鑑賞しました。初見のス

トリーを予習なしで見たため、内容や劇中のジョークで理解できないところもありましたが、言葉がわからなくとも生のオーケストラの演奏や歌、本場ブロードウェイの大胆で華やかな演出は十分に楽しめました。

3月25日。
この日は、はじめに、私が研修の中で最も楽しみにしていたNYSE・ニューヨーク証券取引所を訪れました。エコノミクス甲子園の勉強を始める以前からニュースなどでも頻りにみる場所、ニューヨークの忙しい環境を体現した場所のように思っていたのですが、実際にお話を聞くと、作業のデジタル化の流れに伴って、人数が減り活気も衰えており、数年後には、象徴の役割も不必要になり、NYSEそのものが消滅してしまうかもしれないということを知り驚きました。またここでは、壁一面がスクリーンになった部屋で広報の映像を見せいただき、近未来的な部屋にスターウォーズみたいな

あと興奮しました。

続いて伺ったCity Bankでは、私たちにNYSEにも紹介していただいた中山さんの案内で、実際に取引時間中のマーケット市場に入れていただき、数十秒おきに鳴る電話や周囲の呼びかけの声の中でそこでお仕事されている女性にお話を伺い、金融の熱気を肌で感じました。また、昼食はエグゼクティブ・ルームで御馳走になり、NYSEにご紹介いただいたCity Bankの中山さんや日本人社員の方、また今回、エコノミクス甲子園史上はじめて私たち女子チームが優勝したということもあってか、女性キャリアの方々を紹介していただきお話を伺いました。ここでは特に中山さんに予定していた時間以上に幅広くお話をさせていただき最後にして最大に充実した訪問となりました。

思えば、優勝してから一か月、高校を卒業し上京や大学入学手続きを済ませる傍ら、慌て



うことになるNYSEの外観をみて「勉強したやつと同じだ!!!」と興奮したりエコノミクス甲子園でお馴染みのブル・ベアのブル(雄牛)に因んだ銅像と写真を撮ったり、ハラル・フードの屋台でチキンライスを食べたり、アメリカ・インディアン博物館で呪術系の人形と目があっていました。

在ニューヨーク総領事館では、「経済・金融のグローバル化に如何に対応するか」というテーマのもとお話をいただきました。在ニューヨーク総領事館は、ニューヨーク連邦準備銀行のはす向かいに位置しており、当初は日露戦争の戦費調達を目的として設置されたそうですが、現在はニューヨークの投資家と話し、その情報を日本に送ることを主な業務としているということで、金融の要は、情報であり、グローバルな人材として活躍するためにも「英語が非常に重要である」というアドバイスをいただいたり、少子高齢化という日本が抱え

ている深刻な問題を軸に今後の日本経済の行く末についての見解を語っていただいたりしました。

続いて伺ったのはTIGER PACIFIC CAPITAL L.P.、社長の武神さんです。お話の中では、ハーバードビジネススクールのロケーション(場所)、インダストリー(業種)、ファンクション(役割)に優先順位をつけて就職を決めるという考え方、自分が輝いていた時の共通点を探ることを通じて自分にあった仕事を見つけたBest selfという方法が興味深いと感じました。また、私は特にここで単に仕事に急ぐだけでなく、社会へのギブバックや家族との触れ合いも大切にしている武神さんの生き方の姿勢にあこがれを感じました。

この日の夕食は、在ニューヨーク総領事館の大沢さんと武神さんにステーキハウスにご招待いただき、歓談を通じて楽しい時間を過ごしました。

3月24日
朝からメトロポリタンミュージアムを見学しました。正直、それほど楽しみにしてはいたわけではありましたが、古代エジプトやローマの神殿、中世の教会や宮殿が再現された館内の各部屋を巡る度に夢中になり、2時間弱の限られた時間でまわらなければならないのを惜しく感じましたが、再びニューヨークを訪れたときのための楽しみにすることにしました。

この日、最初の訪問先となる三菱UFJセキュリティーズ(USA)では、主に社内見学をさせていただきました。ここでは、マーケットの部門別に席を固め、チーム戦で戦いながらも、インサイダー情報が漏洩しないよう個人の部屋やロック付きの部屋が多く用意されていました。取引のために用いる複数の画面がついたコンピュータや専用のキーボード、電話を見たのはここが初めてで、非常に印象に残りました。また、社内では自由に飲み物や果物が提

てパスポートを取りに行き、旅立つ、ほとんどはじめての海外旅行でした。入国審査で引かれることもパスポートをなくすことも迷子になることもなくて本当によかったです。(ホテルの部屋のカードキーは1枚紛失しました)

たくさん迷惑をおかけしましたが、付き添っていただいた鈴木さん、学生スタッフの宝蔵蓮也先輩、内田葵先輩、井上ちひろ先輩、そしてともにチームを組んだ宝蔵花穂さんには心より感謝します。ありがとうございました。



ラッセル・インベストメント

総領事館経済部

タイガー・パシフィック・キャピタル

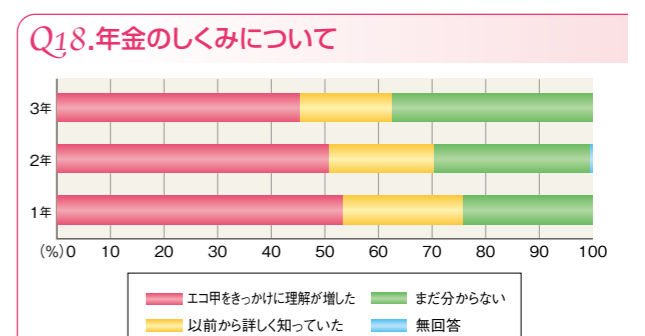
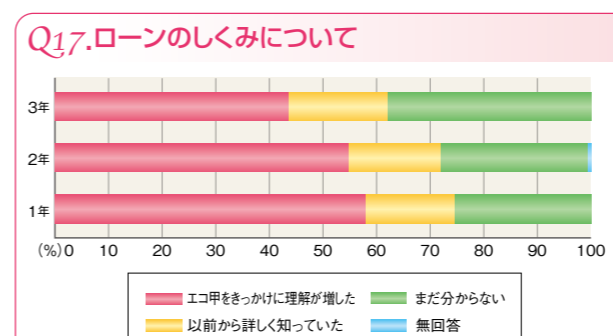
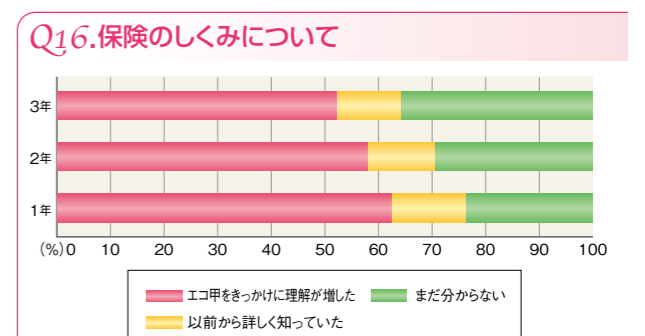
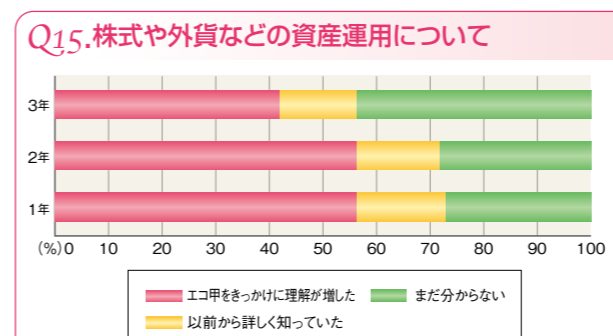
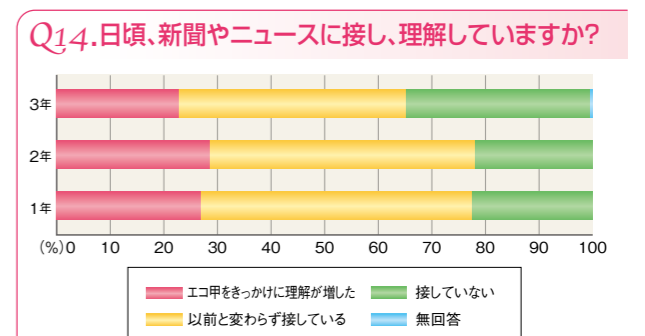
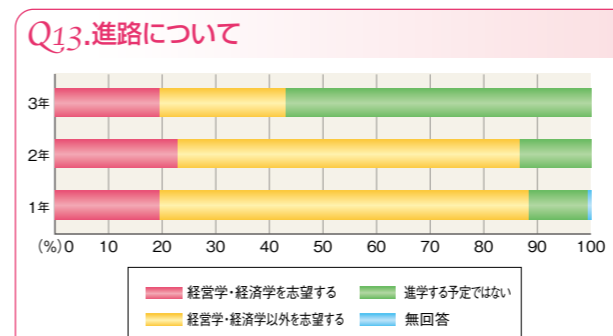
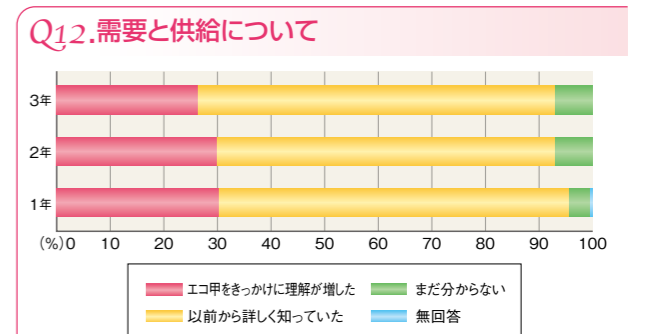
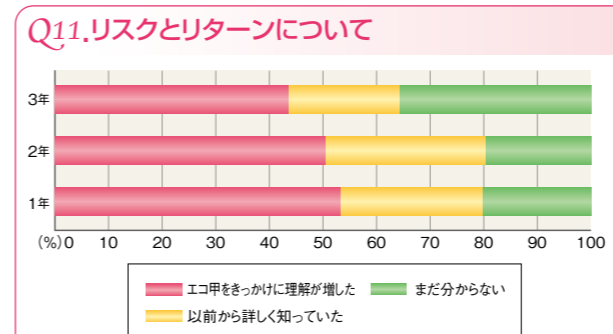
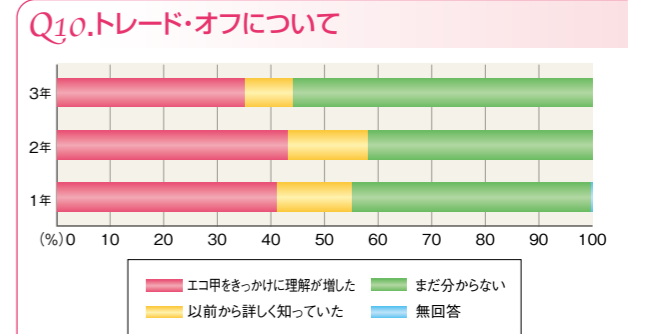
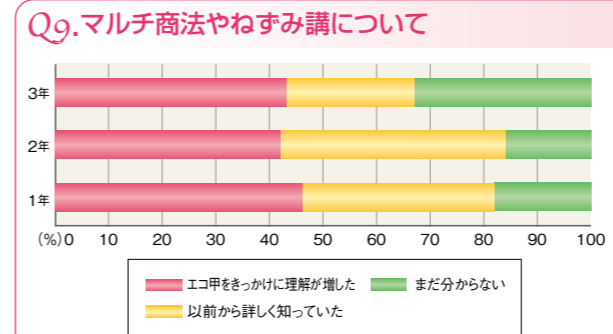
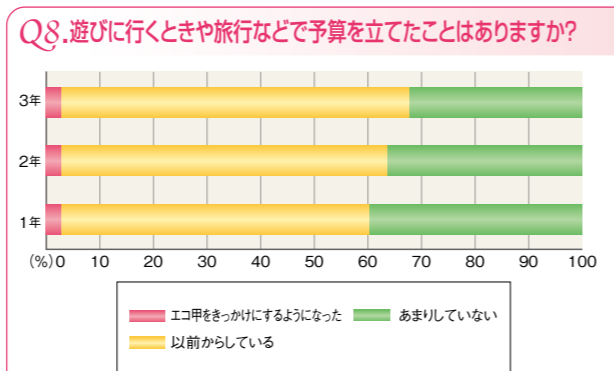
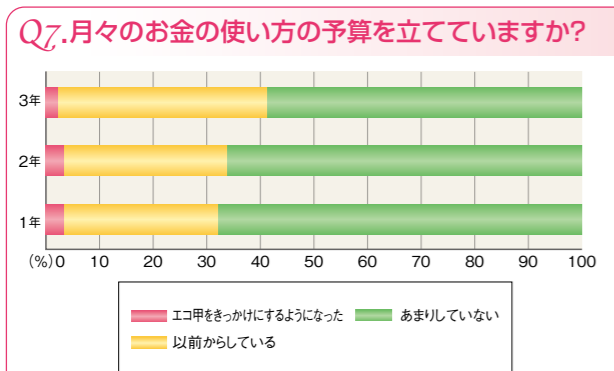
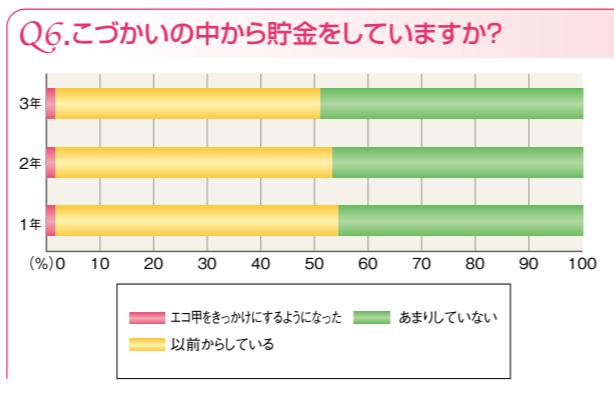
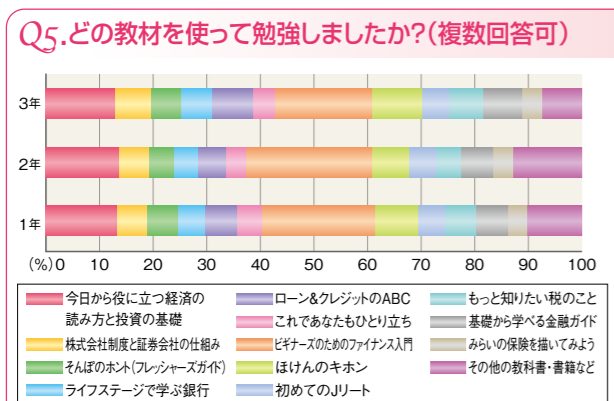
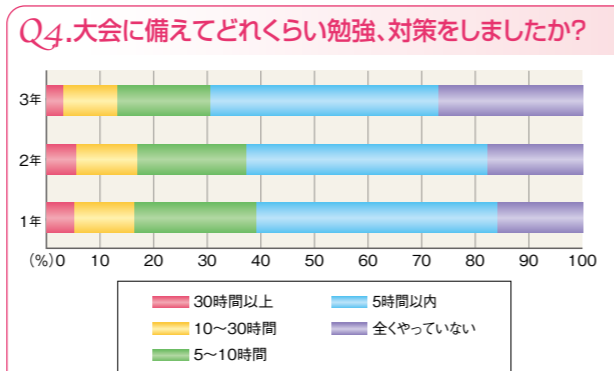
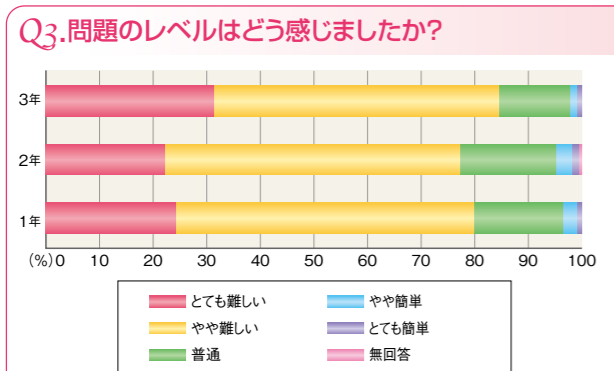
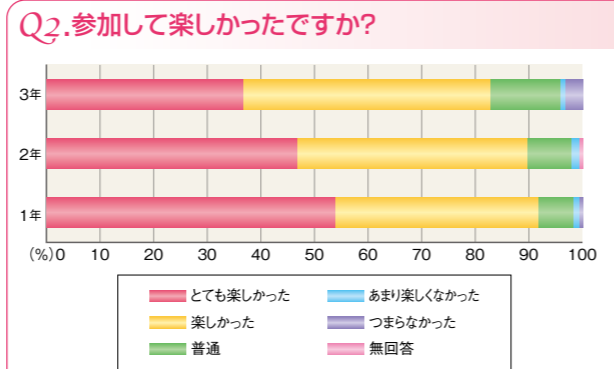
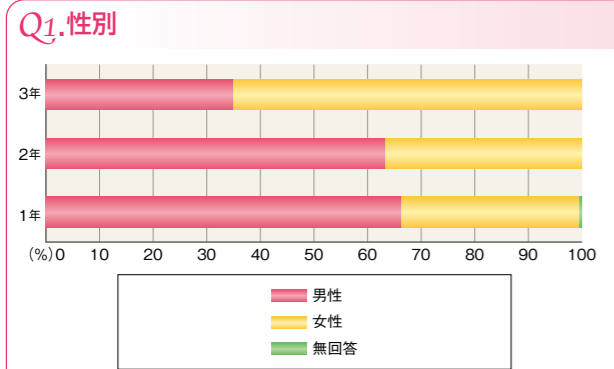
三菱UFJセキュリティーズ(USA)

マニユライフ生命保険

ニューヨーク証券取引所

CITIグループ







エコノミクス甲子園では各企業・団体様から寄贈していただいたテキストを、事前学習教材として無料で参加生徒に送付しております。
事前学習教材の内容から何題かクイズが出題されるので、生徒たちも大会前にしっかりと勉強してください。
単純にテキストを配布するよりも高い学習効果を上げています。

 <p>■ 今日から役に立つ、経済の読み方と投資の基礎 (作成:金融知力普及協会 寄贈:シティバンク銀行) シティバンク銀行ホームページ http://www.citibank.co.jp/</p>	 <p>■ ビギナーズのためのファイナンス入門 (作成:寄贈:金融広報中央委員会) 金融広報中央委員会ホームページ http://www.shiruporuto.jp</p>
 <p>■ これであなたもひとり立ち (作成:寄贈:金融広報中央委員会) 金融広報中央委員会ホームページ http://www.shiruporuto.jp</p>	 <p>■ ライフステージで学ぶ銀行 (作成:寄贈:全国銀行協会) 全国銀行協会ホームページ http://www.zenginkyo.or.jp</p>
 <p>■ ローン&クレジットのABC (作成:寄贈:全国銀行協会) 全国銀行協会ホームページ http://www.zenginkyo.or.jp</p>	 <p>■ そんぽのホントフレッシュャーズガイド (作成:寄贈:日本損害保険協会) 日本損害保険協会ホームページ http://www.sonpo.or.jp</p>
 <p>■ 株式会社制度と証券市場のしくみ (作成:寄贈:日本証券業協会) 日本証券業協会ホームページ http://www.jsda.or.jp</p>	 <p>■ ほけんのキホン (作成:寄贈:生命保険文化センター) 生命保険文化センターホームページ http://www.jili.or.jp</p>
 <p>■ 初めてのJリート (作成:寄贈:不動産証券化協会) 不動産証券化協会ホームページ http://www.ares.or.jp</p>	 <p>■ もっと知りたい税のこと (作成:寄贈:財務省) 財務省ホームページ http://www.mof.go.jp</p>
 <p>■ 基礎から学べる金融ガイド (作成:寄贈:金融庁) 金融庁ホームページ http://www.fsa.go.jp</p>	 <p>■ みらいの保険を描いてみよう! (作成:寄贈:日本少額短期保険協会) 日本少額短期保険協会ホームページ http://www.shougakutanki.jp</p>



大会名	取材 (TV)	取材 (新聞)	取材 (その他)
北海道 渡島・檜山 地区予選		函館新聞	函館市企画部 国際・地域交流課
北海道 十勝地区予選	帯広シティーケーブル	十勝毎日新聞社 北海道新聞社	
北海道 上川・留萌・宗谷・ オホーツク地区予選		北海道新聞	北海道経済
北海道 釧路・根城 地区予選		釧路新聞 北海道新聞	
北海道 石狩・空知・後志・ 胆振・日高地区予選		北海道新聞社 日本金融通信社	
北海道	北海道テレビ放送 (HTB)	北海道新聞 釧路新聞 十勝毎日新聞 ニッキン 日本経済新聞社	
青森		東奥日報	
秋田		秋田魁新報社	
山形		山形新聞	
福島		福島民報社 福島民友新聞社	
茨城	イバキラTV	茨城新聞	
栃木	とちぎテレビ	下野新聞社	
群馬	群馬テレビ	上毛新聞社	
千葉	チバテレビ	千葉日報	
新潟		新潟日報	ニッキン
富山	北日本放送 富山テレビ チューリップテレビ	北日本新聞 富山新聞	
石川		北國新聞社 北陸中日新聞社	
福井	福井放送 福井テレビ	福井新聞	
山梨	テレビ山梨	山梨日日新聞 読売新聞	
長野		長野日報	

大会名	取材 (TV)	取材 (新聞)	取材 (その他)
岐阜	NHK ぎふチャン (岐阜放送)	読売新聞 中日新聞 朝日新聞 岐阜新聞	
静岡		静岡新聞	ニッキン
三重	東海テレビ 三重テレビ ZTV(CATV)	中日新聞	
奈良		奈良新聞	
鳥取	日本海ケーブルTV	日本海新聞社	
島根		山陰中央新報 日本経済新聞 読売新聞	
岡山		山陽新聞	瀬戸内経済レポート
広島	テレビ新広島		広島エフエム放送
山口	KRY TYS YAB	山口新聞 毎日新聞 読売新聞	
徳島		徳島新聞	
香川		四国新聞社	香川経済レポート社
愛媛	愛媛CATV テレビ愛媛		
高知	高知ケーブルテレビ	高知新聞	
福岡		日本金融通信社	
宮崎	MRT 宮崎放送 NHK 宮崎CATV	宮崎日日新聞 読売新聞 夕刊デイリー	
鹿児島		ニッキン 南日本新聞 読売新聞	
沖縄	沖縄テレビ	沖縄タイムス	



Special Thanks (順不同)

内閣府の皆様
文部科学省の皆様
金融庁の皆様
財務省の皆様
マニユライフ生命保険株式会社の皆様
シティバンク銀行株式会社の皆様
シティグループ・ジャパン・ホールディングス株式会社の皆様
ビットクルー株式会社の皆様
ポルトウウィン・ビットクルーホールディングス株式会社の皆様
パインブリッジ・インベストメンツ株式会社の皆様
ラッセル・インベストメント・グループの皆様
株式会社一休の皆様
I-Oウェルス・アドバイザーズ株式会社の皆様
ファイブスター投信投資顧問株式会社の皆様

オリックス株式会社の皆様
オリックス野球クラブ株式会社の皆様
ロイヤルホールディングス株式会社の皆様
日本ファイナンシャルアカデミー株式会社の皆様
日本証券業協会の皆様
金融広報中央委員会の皆様
一般社団法人全国銀行協会の皆様
一般社団法人日本損害保険協会の皆様
公益財団法人生命保険文化センターの皆様
一般社団法人不動産証券化協会の皆様
一般社団法人日本少額短期保険協会の皆様
サンメッセ株式会社の皆様
フォスター・フォーラムの皆様
三井住友アセットマネジメント株式会社の皆様



マニユライフ生命保険株式会社 取締役代表執行役社長兼 CEO ギャビン ロビンソン 様
マニユライフ生命保険株式会社 代表執行役 森田 均 様
マニユライフ生命保険株式会社 執行役員 浅井 鈴美子 様
マニユライフ生命保険株式会社 コーポレート・コミュニケーション・マネージャー 中山 浩志 様
パインブリッジ・インベストメンツ株式会社 代表取締役社長 杉浦 和也 様
シティバンク銀行株式会社 取締役 田中 達郎 様
ビットクルー株式会社 代表取締役会長 小西 直人 様
ラッセル・インベストメント株式会社 代表取締役副会長 加藤 正純 様
ラッセル・インベストメント株式会社 アプリケーション・ポータル・マネージャー 鹿子木 亨紀 様
株式会社 一休 社長室長 大橋 広樹 様
ファイブスター投信投資顧問株式会社 代表取締役社長 篠原 直人 様
オリックス野球クラブ株式会社 執行役員 玉川 民平 様
金融広報中央委員会 事務局 主任企画役 齋藤 聡 様
東京財団 デルタ（政策研究）研究員 亀井 善太郎 様
明治大学 政治経済学部 教授 加藤 久和 様
文部科学省 国立教育政策研究所 初等中等教育研究部長 大杉 昭英 様
認定NPO法人金融知力普及協会 理事長 金子 昌資 様
認定NPO法人金融知力普及協会 専務理事 神山 孝雄 様
認定NPO法人金融知力普及協会 理事 野中 ともよ 様
(順不同) (肩書きは当時)

アサヒビール株式会社
株式会社NTTドコモ
オリックス株式会社
株式会社経済法令研究会
サンメッセ株式会社
シティグループ・ジャパン・ホールディングス株式会社
SMBC日興証券株式会社
公益社団法人日本証券アナリスト協会
日本証券業協会
三井不動産株式会社

各地方大会、全国大会でのボランティアの皆様

ボランティアスタッフ

木原 健太郎	御手洗 伸	廣瀬 哲	津山 隼	宮川 輝	澤田 昂大	船越 大雅	横山 友亮
岡辺 公志	遠藤 優	又吉 康雅	中原 大	山口 哲郎	仲川 英歩	松岡 明宏	帯包 彩加
亀岡 孝展	尾崎 眞史	井上 ちひろ	沼 大地	飯田 希	鈴木 英理菜	松田 直晃	谷 勇磨
小林 大城	北島 拓也	内田 葵	浜田 浩考	岩崎 翔大	濱元 貴大	松原 尚生	中村 翔太郎
佐々木 翼	白石 宏輔	甲斐 寛之	宝蔵 蓮也	小川 夏	比嘉 将大	宮城 佳祐	又吉 康紀
西川 陽之	中村 賢史	篠原 美紗	松本 悠哉	金 玄鎬	藤井 俊秀	山根 有輝也	渡邊 幸輝

ユークレイル・エイト



エコミクス甲子園は、高校生の金融経済リテラシーを高めるという理念にご賛同いただいた、各社様のご支援により成り立っています。感謝の思いを込め、ここにご協賛をいただいた各社をご紹介します。

プラチナスポンサー



ゴールドスポンサー



シルバースポンサー

